

生莢用(中熟莢塩ゆで)落花生の栽培法

第1報 早穫り栽培における播種時期

露重美義・宮下茂樹・溝口一郎・*加治屋伸章
(鹿児島県農業試験場大隅支場・*鹿児島県農業試験場)

Miyoshi TUYUSHIGE, Shigeki MIYASHITA, Ichirou MIZOGUCHI and Nobuaki KAJIYA :
Cultivation Techniques of Green Peanut for Boiling with Brine.

1. Seedling Time in Early-Season Culture

本県では、以前から産地を中心に生莢を塩ゆでして食する習慣があったが、最近の冷凍技術の発達に伴って、冷凍食品として流通化への動きも活発で、生莢の需要が増加しつつある。しかも早期出荷ほど高値で取引されることから、早穫り栽培での播種時期について、1984年から3ヵ年検討したので、その概要を報告する。

1. 試験方法

早進化対策としてマルチ・トンネル栽培とし、播種時は第1表のとおりとした。なお気温の上昇する3月下旬には、マルチのみ区も設けた。また1984年には、ペーパーポット育苗による移植も試みた。両試験ともワセグイリュウを供試した。温度管理は、4月初旬からトンネルの南面裾を上げて換気を図り、気温上昇に伴って開放割合を高め、5月中旬には全部除去した。

2. 結果及び考察

トンネル内の温度を、平均気温で外気温と比較すると、トンネル無開放の3月は、外気温12.4℃より7~8℃高く、トンネル被覆面積の約25%を開放した4月、及び50%開放した5月初~中旬は、外気温の15.7℃、19.7℃より各4℃、2℃程度高く推移した。

播種時期と出芽及び開花期：出芽日数は10日~2週間程度で、早播きほど日数を要した。出芽率は、1986年は各区とも極めて高かったが、'85年は、2月20日播きは低温により劣り不安定さを示し、3月31日播き(故意にトンネル無開放)は高温障害を受けた。

開花は、2月20日播きが4月中下旬、3月21日播きで

60日を目安に調査した。収量に年次間差はあるが、3月2日~同21日播きはほぼ安定して高収を得た。しかし、2月20日と3月31日播きは、出芽が良かった年でも、莢数の不足や一莢重の減少により低収を示した。2月20日は、播種期の早過ぎ、3月31日はトンネル被覆期間が短いことによる、温度の影響と考えられる。

マルチ栽培との比較：マルチ+トンネル栽培により出芽日数が短縮され、開花期も約7日早まった。増収効果は、3月21日播きでは約30%みられたが、3月31日播きでは極めて小さかった。

育苗移植：活着及び生育はほぼ良好で、栽培可能であるが、開花期は直播と同日移植がほぼ同時で、開花促進効果は小さかった。

以上のことから、マルチ+トンネル条件下における塩ゆで用早穫り落花生の播種時期は、2月初旬は低温による出芽障害など不安定であり、3月初旬以降が望ましい。また3月下旬以降は、トンネルによる増収効果が小さいことや、資材・温度管理などからみて、マルチ栽培が有

第2表 直播と移植栽培(1984)

	播種期 (月日)	移植日 (月日)	開花日数 (日)	開花期 (月日)
直	2.20		64	4.25
	3.5		54	4.28
	3.21		42	5.2
	3.30		—	5.上
播	3.30 ¹⁾		48	5.17
	2.10	3.21	76	4.26
	2.20	"	72	5.2
	3.1	3.30	64	5.4
植	3.1 ²⁾	"	77	5.17

注) 1), 2)マルチ栽培

利であると判断された。一方育苗移植では栽培は可能であるが、早進化効果は小さく、移植労力も大きいので直播栽培が得策と考えられた。

第1表 播種時期と出芽・開花及び収量

播種期 (月日)	出芽期 ³⁾ (月日)	出芽率(%)		開花期(月日)		生莢実重 (kg/a)	
		1985	1986	1985	1986	1985	1986
2.20	3.8	58	99	4.22	4.13	29.8	32.5
3.2	3.14	81	98	"	4.22	52.1	41.2
3.12	3.25	81	97	4.26	4.27	59.6	44.2
3.21	4.1	90	96	5.3	5.3	85.7	42.4
3.21 ¹⁾	4.7	70	97	5.10	5.11	32.4	32.2
3.31	4.12	19	99	—	5.9	—	34.8
3.31 ²⁾	4.14	89	85	5.15	5.16	49.4	33.2

注) 1), 2)マルチ栽培 3)2ヵ年平均

5月初旬となり、マルチ栽培に比べ20~30日早まった。

収量：塩ゆで用としての収穫適期は、まだ明らかでないが、子実の充実度及び市場の評価を考慮して、開花後